

証券分野における潮流  
- ISO20022/SWIFTの導入に向けて -



**ドイツ証券株式会社**

情報技術部

ジャバー・イスマイル

A Passion to Perform.

**Deutsche Bank**



## ➤ 現状のシステム構成

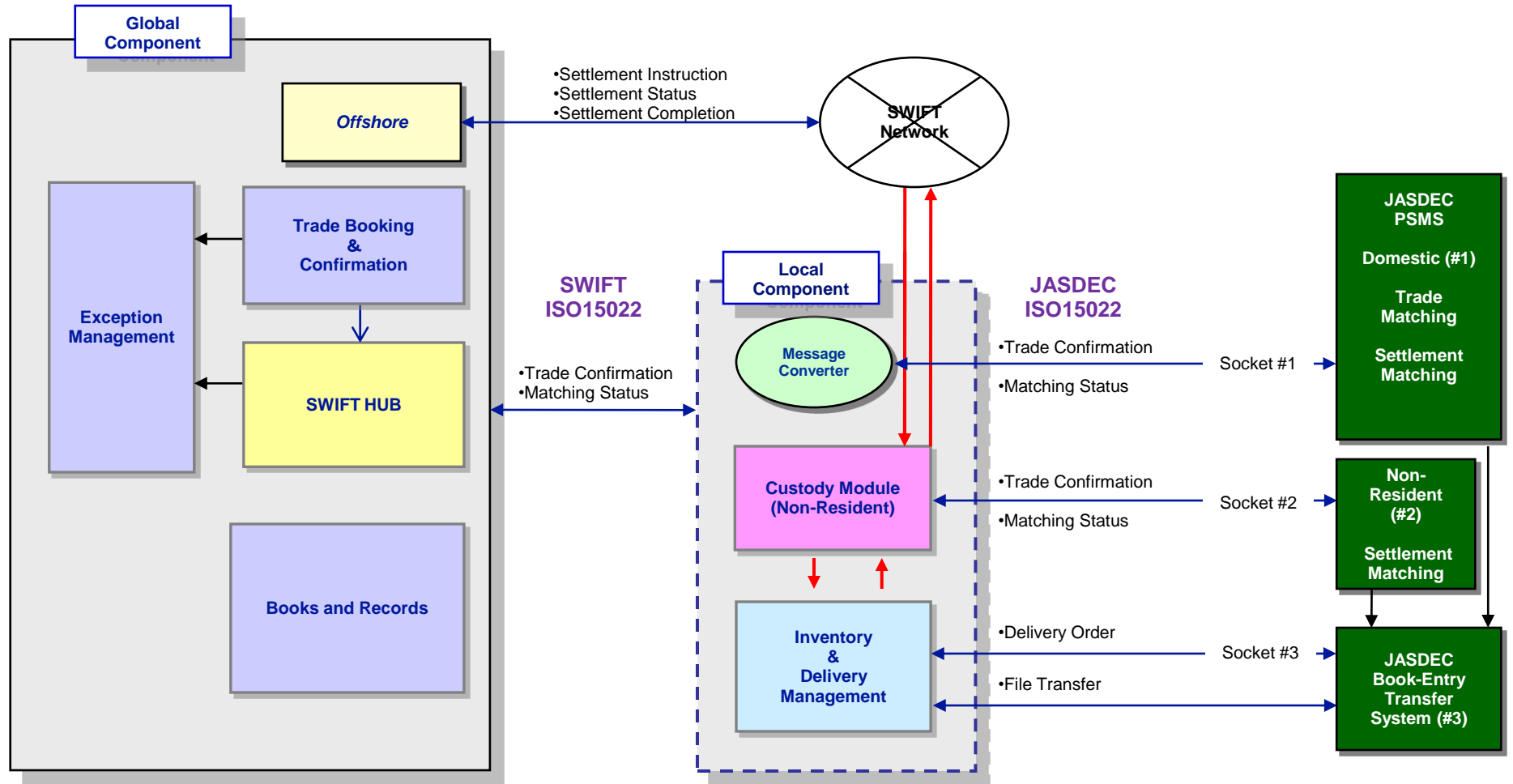
- 日本国内でのシステム開発
- 各ソケット毎(決済照合/口座振替)のシステムコンポーネントでの運用
- 日本国内のインフラ資源の利用(回線、接続GWソフトウェア)

## ➤ 現状の課題

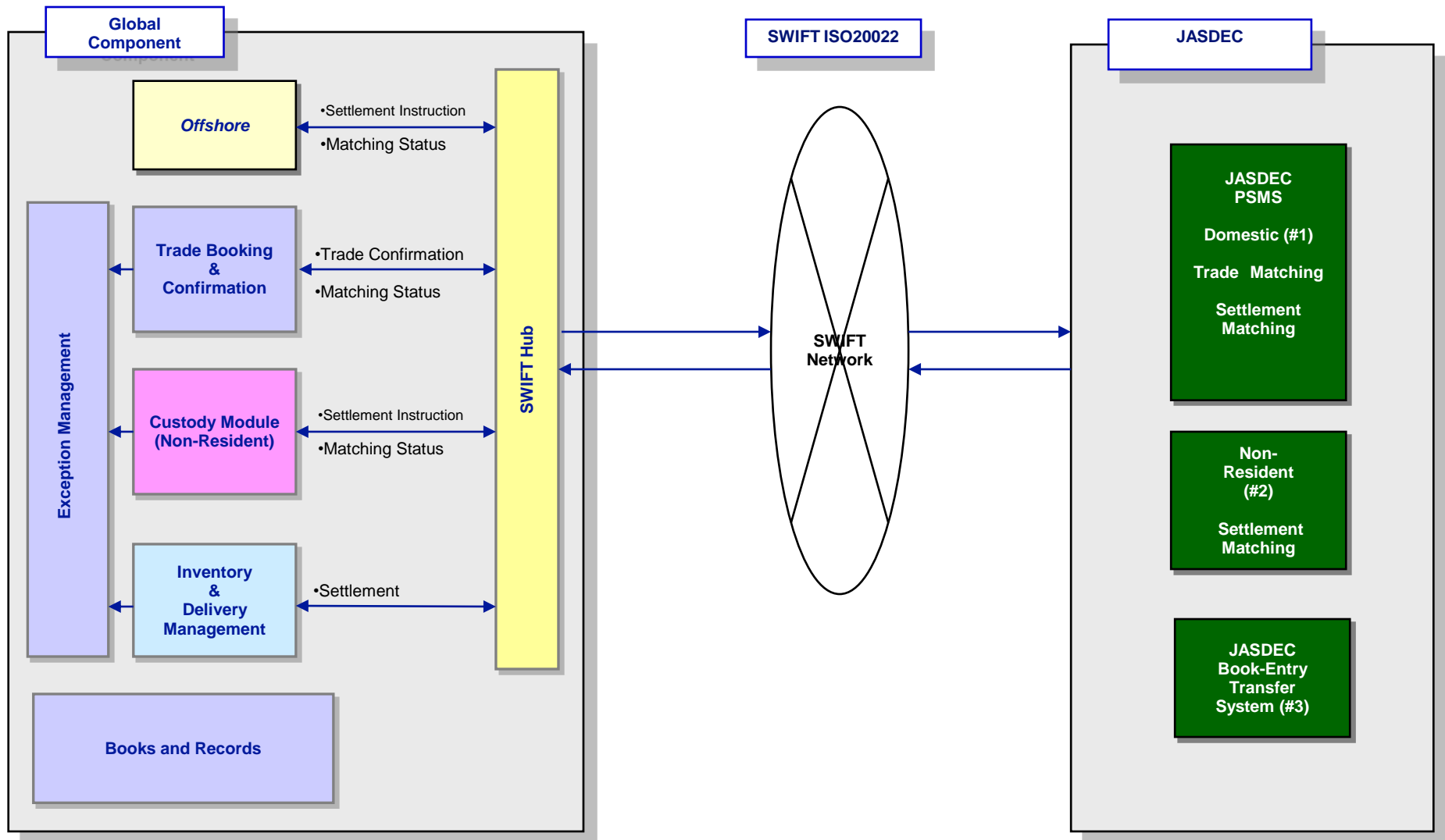
- 日本固有のインターフェース(カスタマイズISO15022)の為、ローカルコンポーネントが必要
- プロトコルがJASDEC固有の為、オープン・インターフェースの導入が困難
- 日本国内のインフラ資源及び、ITリソースへの依存度が高い
- トランザクション処理コストの削減が困難
- グローバル・コンポーネントへの統合が困難



# System Diagram (Current)



# System Diagram (Future)



## ➤ Global Standardization

- W3C準拠XMLの採用及びXMLスキーマが公開される事による開発・メンテナンス負荷の削減
- グローバル・インフラ資源の有効利用(SWIFTNet、SWIFT接続Gateway)

## ➤ コストの削減

- オフショアのシステム開発リソースの効率的利用可能
- グローバル・コンポーネントへの統合が可能になることによるコスト削減

## ➤ 効率性の向上

- STP率の向上による業務全般の自動化が促進される
- 将来的なクロス・ボーダー取引への対応が容易になる